

EAGLE RACING

1/10 Crawler V2

No.EA-SCX10V2-BK
No.EA-SCX10V2-RE



■組立説明書



EA-SCX10V2は、前後のアクスルを小さく設計することでさらに走破性を向上させ、内部にはヘリカルギアを装備し超ローフリクションで駆動を伝えます。また走行中のローリング現象を防ぐ正反転プロペラシャフトを採用し不安定な路面でも究極の安定走行が可能です。#EA-SCX10V2は初代#EA-SCX10で立証されたように耐久性に優れた材料と設計を用いた、95%硬質ジュラ製シャーシとなっております。テスト販売品：部品単品価格は約68,000円以上のところ試験販売価格47,800円となっています。95%完成品のため、簡単な取り扱い説明書のみとなっております。

走行に必要な物：プロポセット(アンプとモーターを含む)、充電器、バッテリー、ボディ、ショックオイル etc.

全長：450mm、全幅：230mm、ホイールベース：313mm

アクスル用ヘリカルギア 28T & 8T(0.9M)、トランスミッション (48Pitch) 36T & 18T、カウンターギア (48Pitch) 26T & 20T、スパー & ピニオンギア (32Pitch) 56T & 13T、ギア比 1=11.1

#EA-A006P1 JP チェロキータイプボディ(ホイールベース 313mm) ¥9,200 専用ボディマウント付き、専用バンパーは別売。

※生産時期により予告無く仕様変更等がある場合がございますので、ご注文の際は一度ご確認の上お買い求めください。

Helical gear for axle 28T & 8T(0.9M), Transmission (48Pitch) 36T & 18T, Counter gear (48Pitch) 26T & 20T, Spar and pinion gear (32 Pitch) 56T & 13T, Gear ratio 1:11.1

Overall length: 450mm, Full width: 230mm, Wheel base: 313mm.

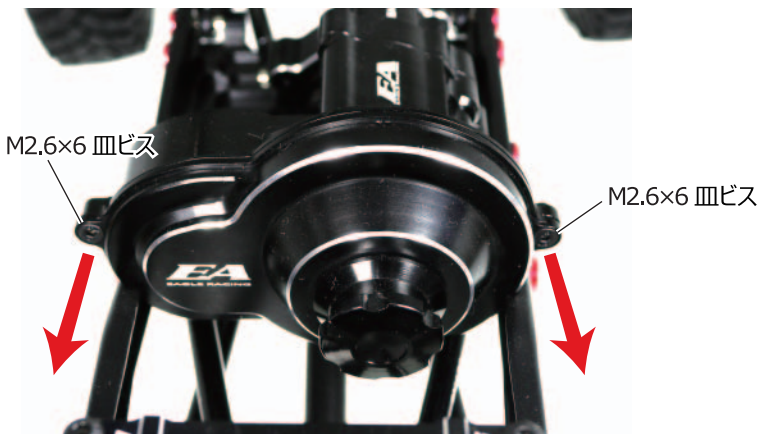
www.eaglemodel.com

■メカ並びにモーターの取り付け

☆モーターの取付け

以下の説明に従ってギアボックスカバーを取り外してください。

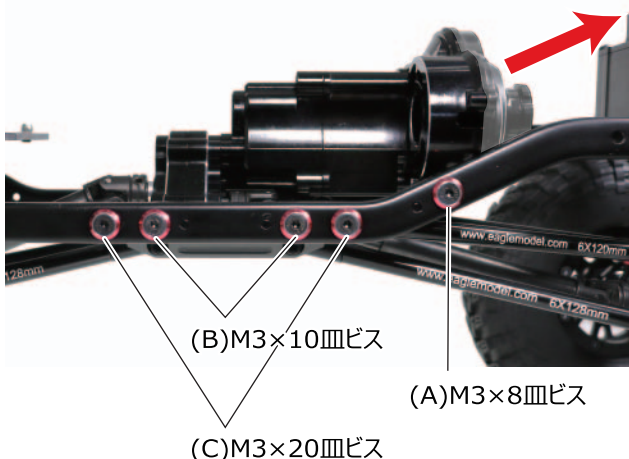
1. ギアボックスカバーの取り外し



ギアボックスカバーをとめている M2.6x6 の 2 本の皿ビスを取り外します。

本説明書をご参照頂き、十分にご理解頂いた上でご使用ください。
また、必要に応じてネジロック剤の使用をお勧め致します。
(#3318 LOCTITE 242ネジロック剤 NET.0,5ml ¥350)
Screw Lock is needed in this chassis.
Please lock the screw before using.

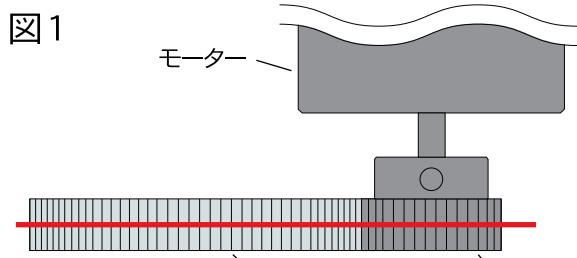
2. ギアボックスカバーの外し方



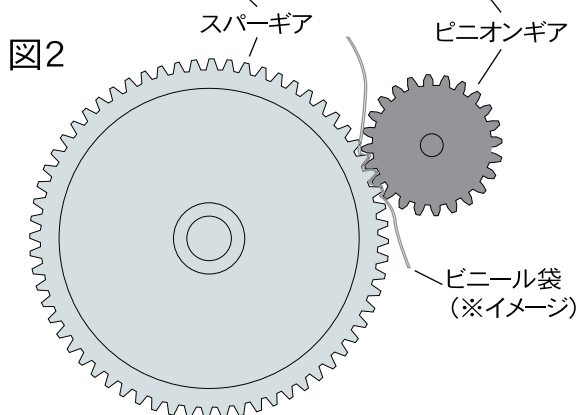
ギアボックスカバーをそのまま外そうとするとシャーシフレームと干渉して外せません。斜め上部にスライドさせると簡単に外す事が出来ます。

上記方法で外せない場合はギアボックスをとめている左右 2 本 (A) の皿ビスを取り外し、さらにギアボックスマウント (B) と (C) の 8 本の皿ビスも少し緩めてもう一度ギアボックスカバーを取り外してみてください。

3. ピニオンギアの取り付け



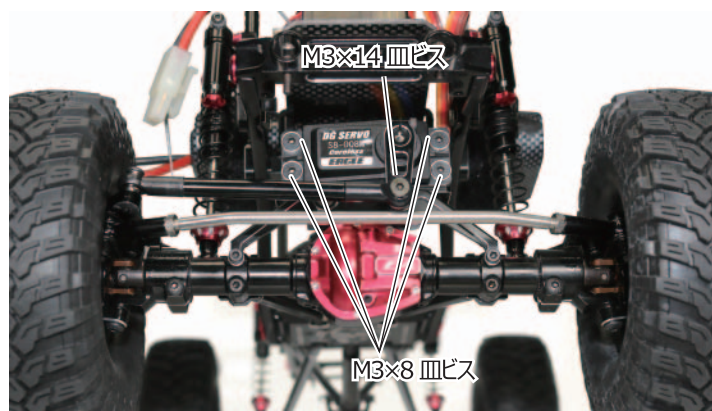
本品には、ブラシレスモーターなら 18.5T 前後、ブラシモーターなら 35T~45T の物をおすすめ致します。モーターにピニオンを取り付けギアボックスに固定します。この際 (図 1) のようにピニオンギアとスパークギアが一直線になるよう調整します。



その後バックラッシュ調整 (噛み合わせ) を行って下さい。(図 2) のイメージ図のように、ピニオンギアとスパークギヤの間隔はビニール袋 1 枚分ほど空けるのが最適です。間隔の詰め過ぎはギア鳴りの原因になります。

☆サーボの取付け

4. サーボ



付属のサーボホーンはフタバ用又はフタバ型（25T）のサーボファイナルギアをお使いの場合ご使用頂けます。リンケージバーを M3×16 皿ビスでサーボホーンに固定します。

サーボをサーボマウントに M3×8 皿ビスで 4 カ所固定します。

サーボをニュートラル位置に合わせてサーボホーンを取り付けます。この際センタースクリューとクランプスクリューを適度に締め固定します。

5. ESC と受信機の積み込み



ESC はサーボ上部のフロントメカプレートに両面テープで固定します。

受信機は後部メカボックス（スカル模様の付いた箱）に納めます。

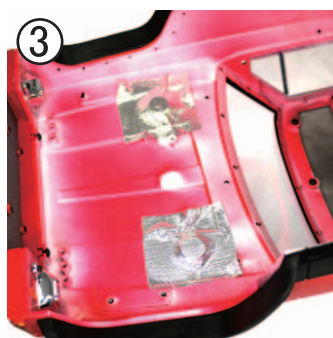
※注意 配線が短い場合や ESC と受信機が小型の場合は ESC と共にフロントメカプレートに乗せることも出来ます。

6. バッテリー装着



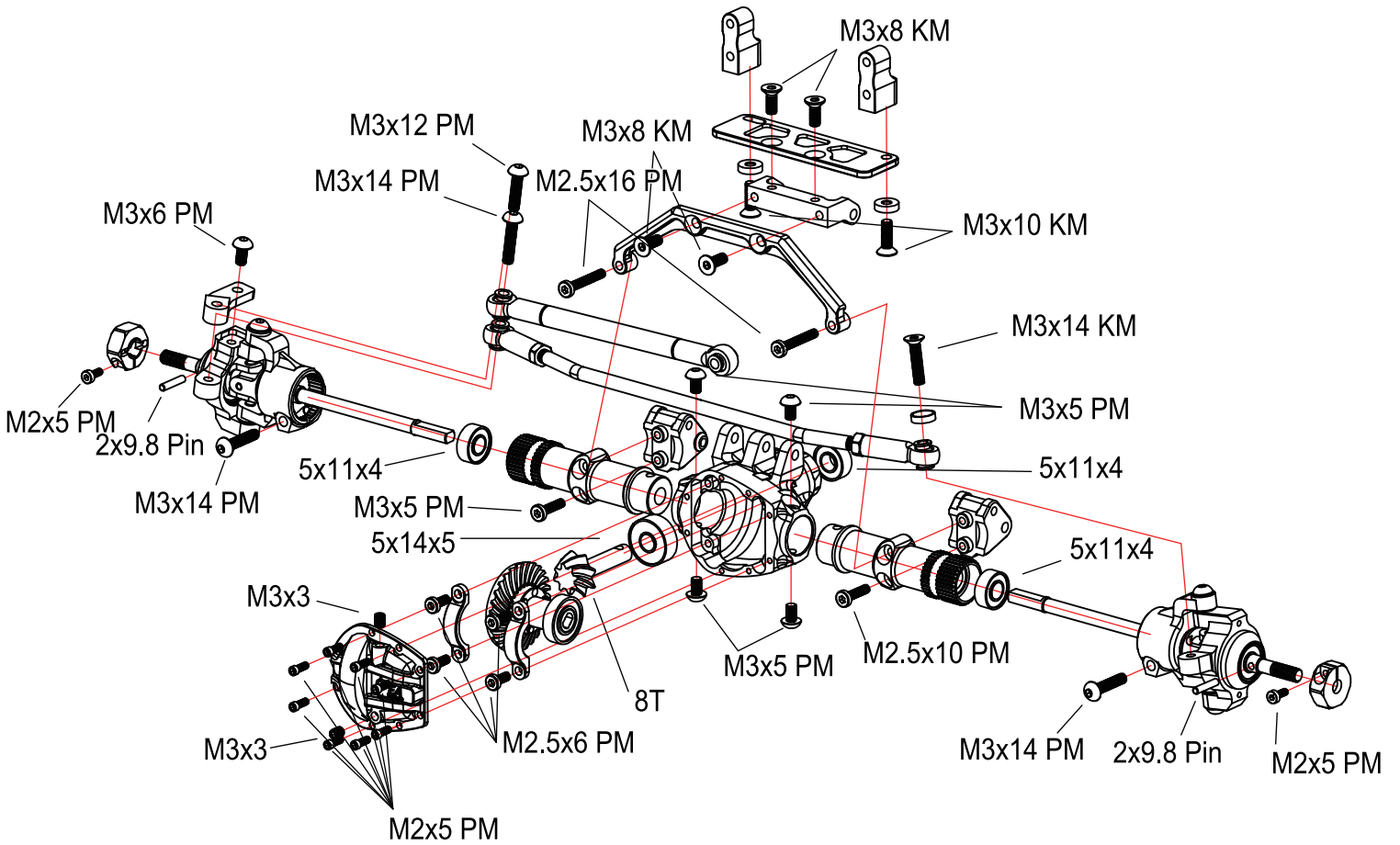
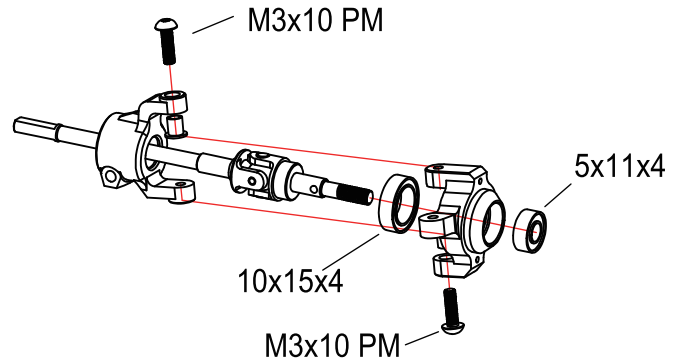
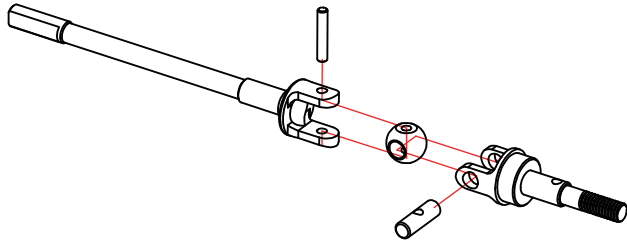
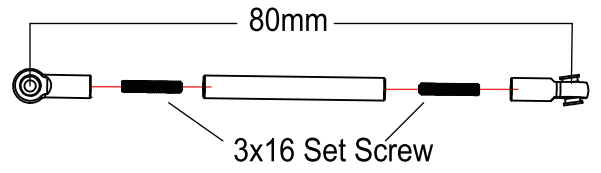
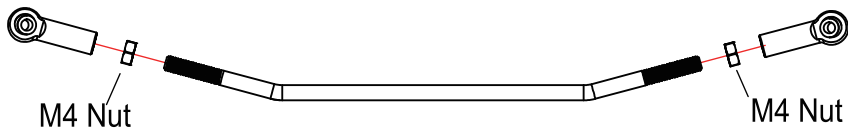
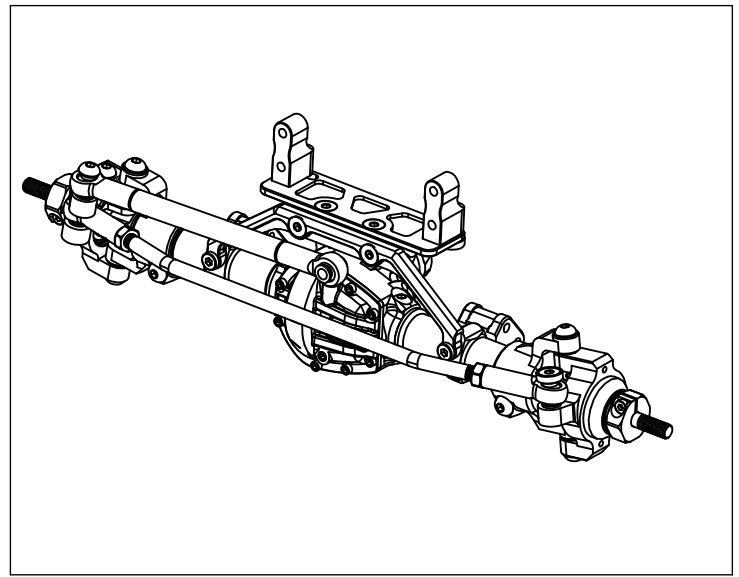
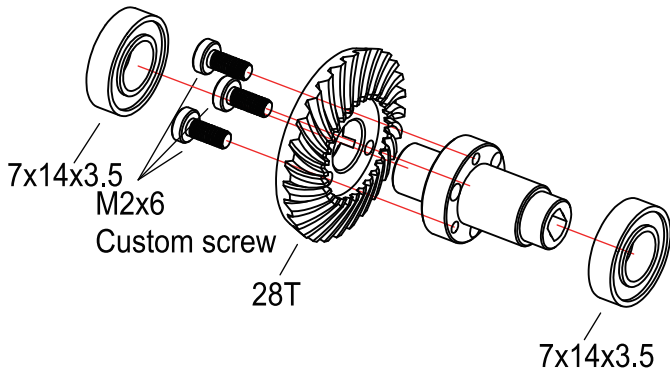
フロントバッテリープレートにバッテリーを載せ付属のバッテリー用ストラップでしっかりと固定します。

7. ボディマウント

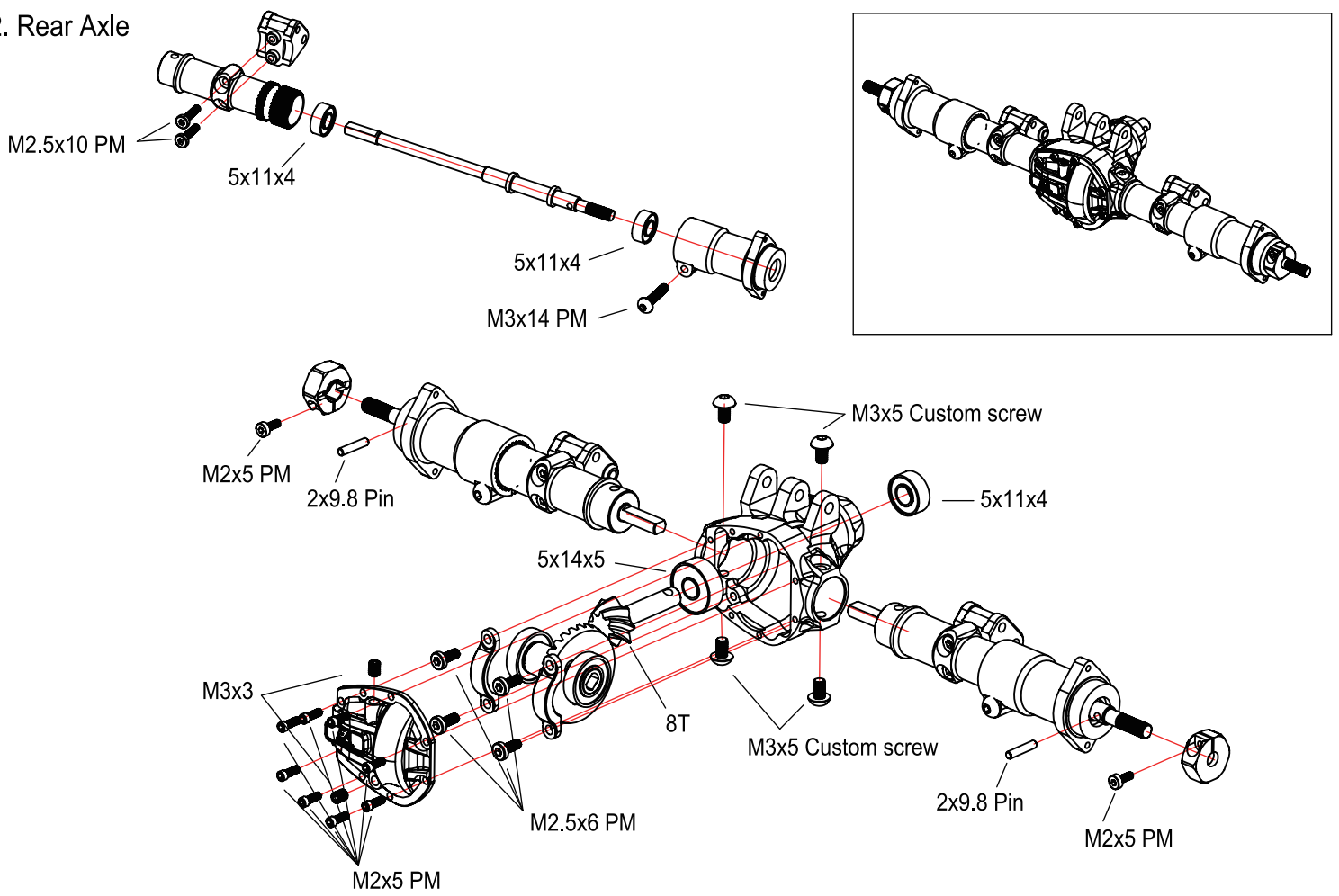


1. ボディポストをお好みの位置に付属のボディポスト専用ビスを用いボディマウントに取り付けます。
2. ボディポストの上部に穴有マグネットを M3×10 皿ビスと M3 ナイロンナット（前後 4 カ所）で固定します。
3. フロントボディ側マグネットは磁石の向きに注意して瞬間接着剤でボディに貼った後、アルミテープで補強します。
4. 付属のリアボディ・マグネットマウントに磁石の向きに注意してマグネットを瞬間接着剤で固定します。付属のマウントは EA-A006P1 JP チェロキータイプボディ（ホイールベース 313mm）専用となっております。その他のボディにお使いの場合は同ボディマウントを工夫しお使い頂くことで比較的簡単にボディ装着が出来ます。

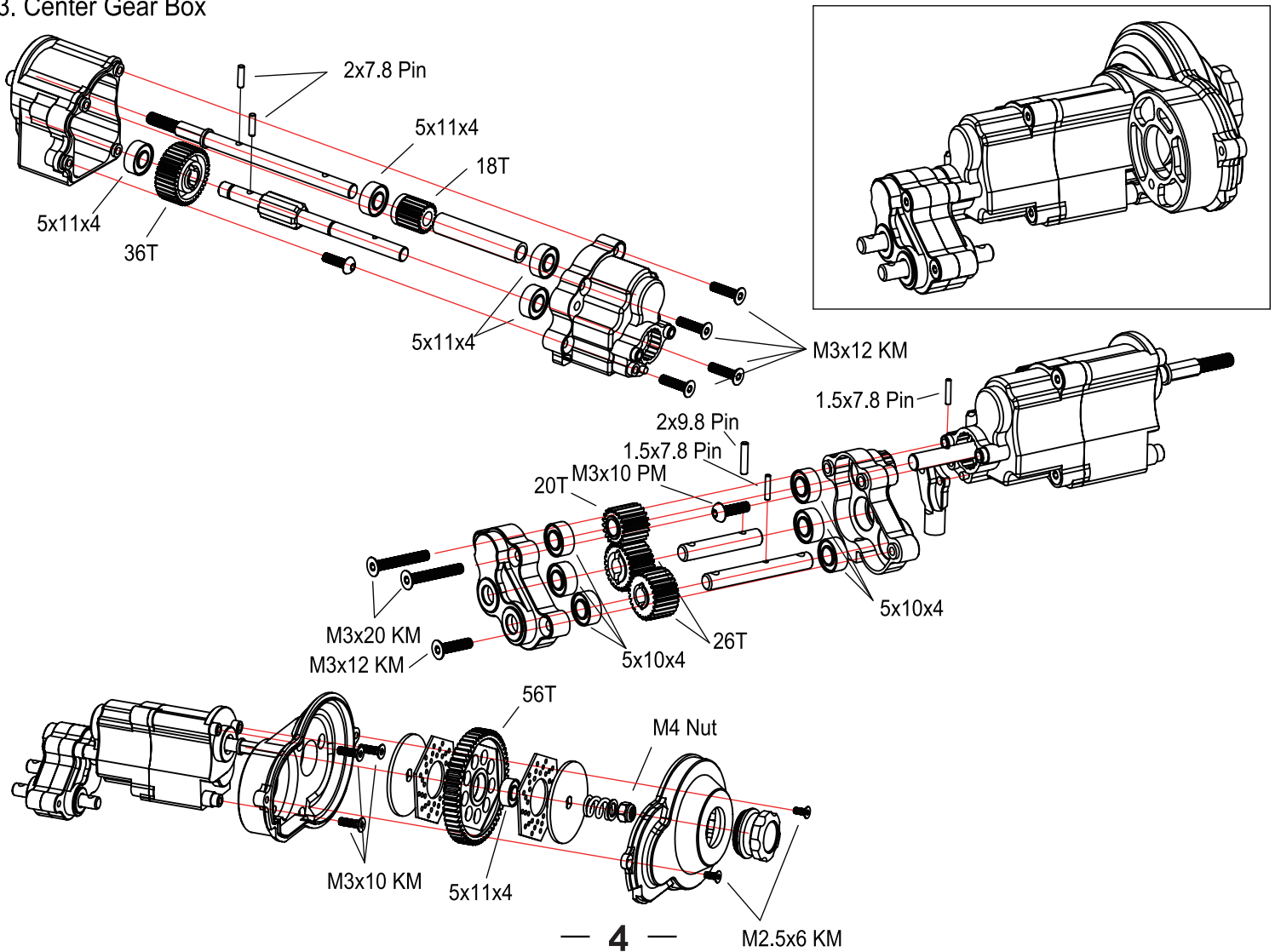
1. Front Axle



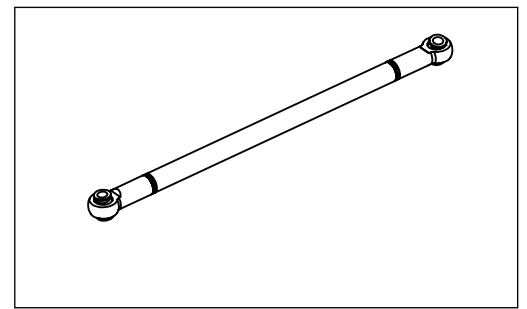
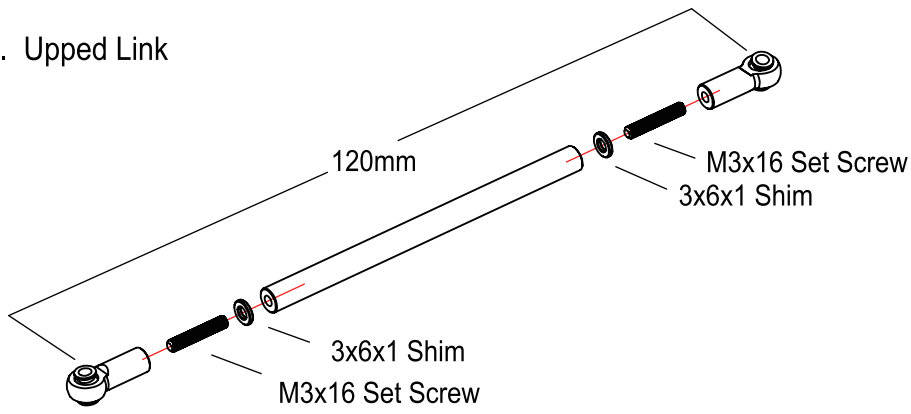
2. Rear Axle



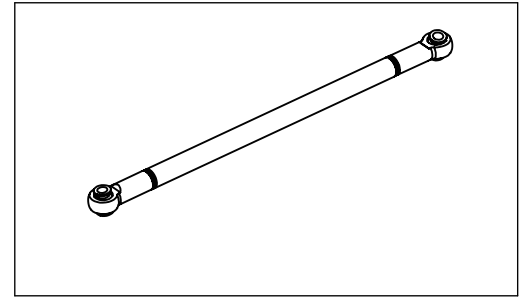
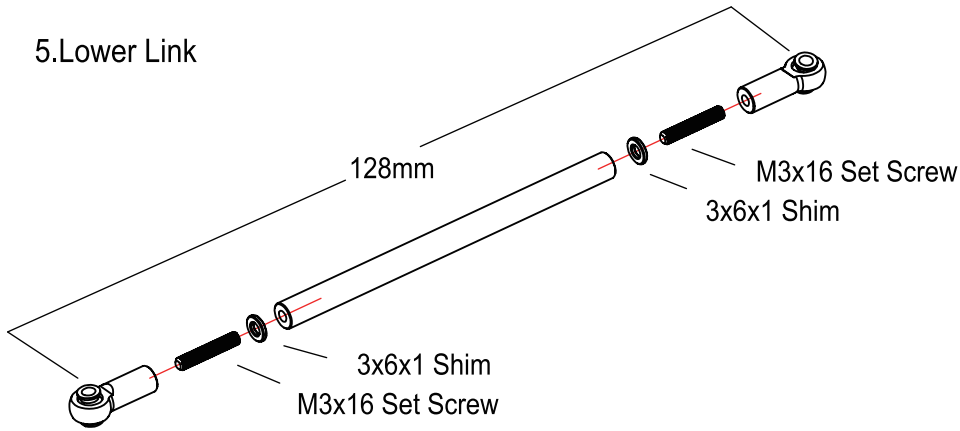
3. Center Gear Box



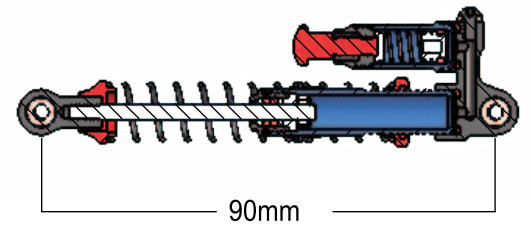
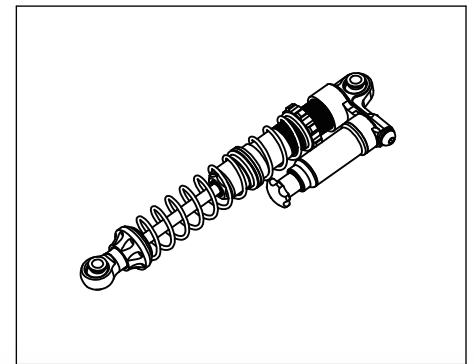
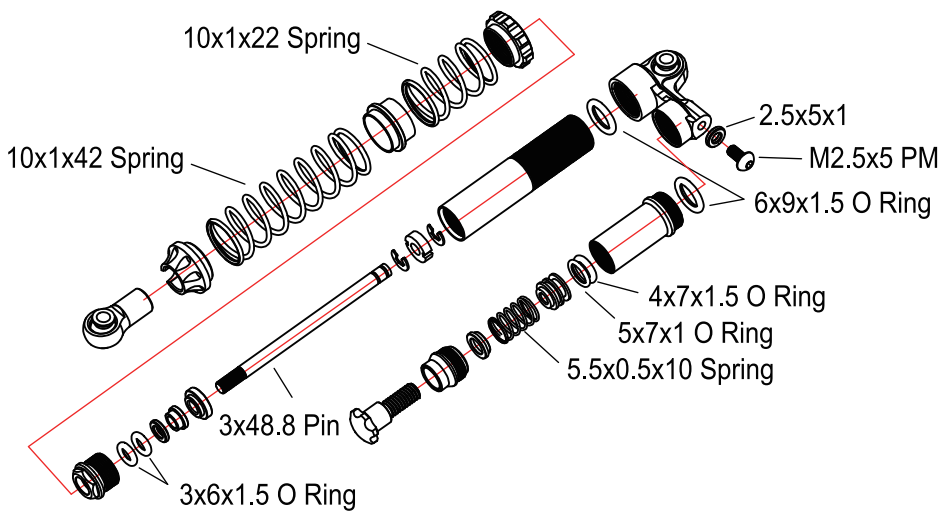
4. Upped Link



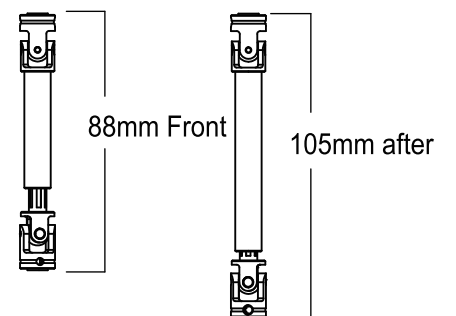
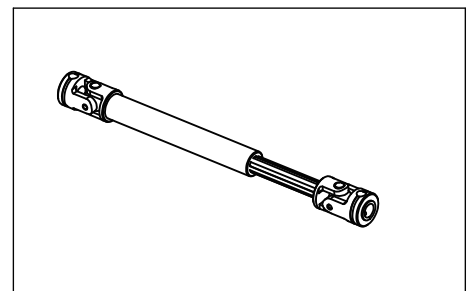
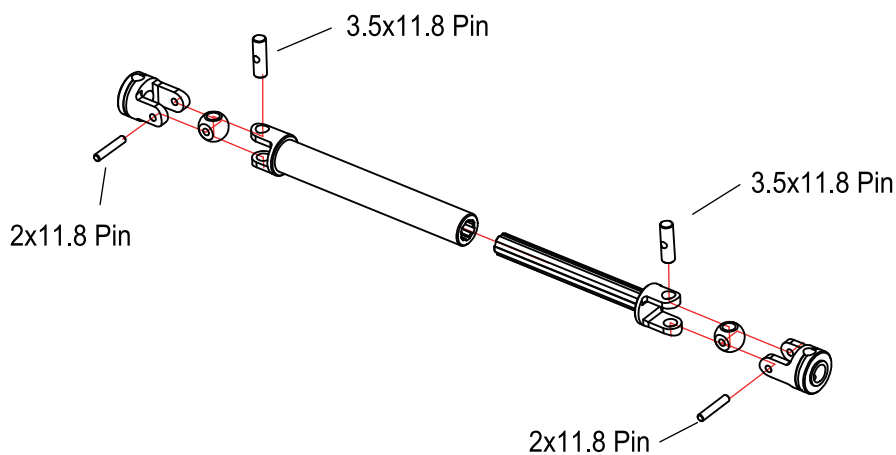
5. Lower Link



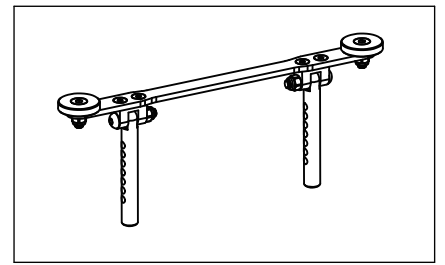
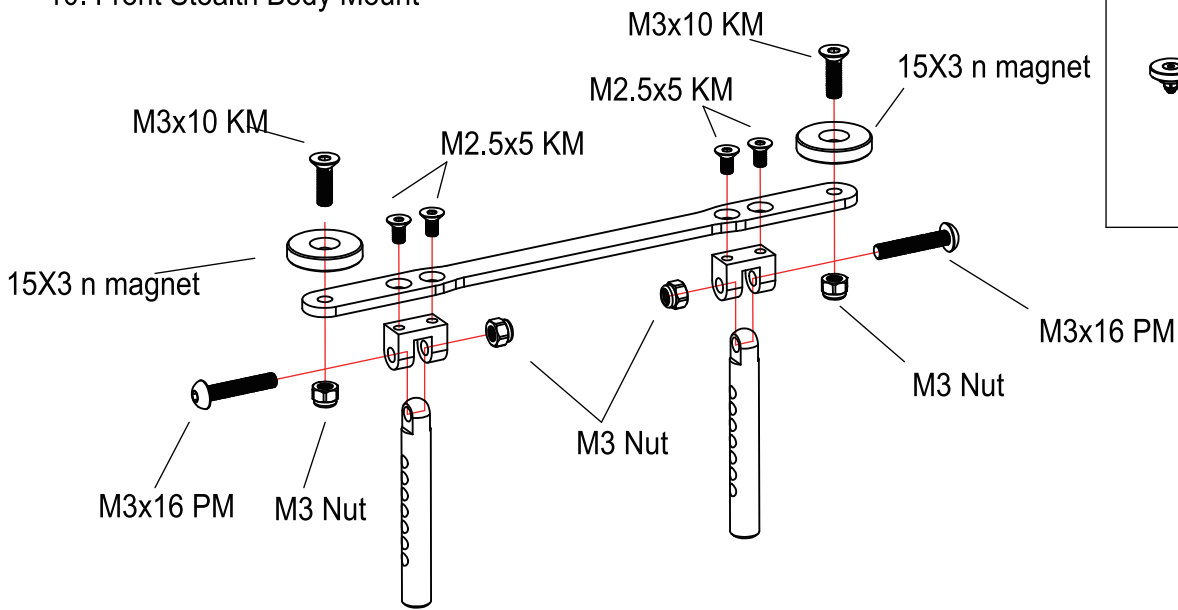
6. Shock Absorber



7. Transmission Shaft



10. Front Stealth Body Mount



11. Rear Stealth Body Mount

